2015～2016年度　委員会活動報告書

<table>
<tr><th>委員会</th><th>担当副委員長</th><th>活　動　報　告</th></tr>
<tr><td rowspan="3">クラブ運営常任委員会
田渕謙二</td><td>親睦活動
伊藤智秋</td><td>１　親睦活動について

①毎月行事として，該当会員に対し，誕生記念，結婚記念及び入会記念のお祝品を交付した。
執行額　422,520円

②秋及び春にそれぞれ親睦旅行を実施した。
秋の親睦旅行　参加者　35名　183,950円
春の親睦旅行　参加者　43名　61,664円

③新入会員歓迎会（兼情報集会）を１回実施した（於　からさき）
参加者　28名　96,000円

④１２月に忘年例会を実施した。
参加者　82名　369,990円（諸費含）</td></tr>
<tr><td>プログラム
石田　佳弘</td><td>２　プログラムについて

①３０００回記念例会を山水館にて執り行い，例会終了後，尾関宗圓和尚の講演を実施した。
参加者　46名　234,920円

②可能な限り各会員に卓話を実施してもらった。</td></tr>
<tr><td>会報・広報
長山　正剛</td><td>３　会報・広報

①滞りなく週報を発行した。
執行額　587,304円

②マイロータリー登録を推奨し，多くの会員に登録してもらった
（　7割弱　）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クラブ組織委常任委員会
小山彰夫</td><td>会員増強
橋本　憲治</td><td rowspan="2">今年度早々に会員増強についてのクラブフォーラムを実施
①以前入会されていた事業所、団体をあたる
②現会員が所属する団体、組織における好適人材を勧誘
③未充填職種への勧誘を図る
④以前メンバーだった退会者のお子様を勧誘する
⑤元インターアクト、ＲＡＣメンバーを当たる
上記項目について全員参加で話し合い、会員拡大の重要性について再確認できた。守備的な側面として、転勤に伴う後任の積極的勧誘を行い、１人も減少することなく新メンバーを迎え入れる事ができた。
執行額　10,000円</td></tr>
<tr><td>選考・分類
倉本　進</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>委員会</th><th>担当副委員長</th><th>活　動　報　告</th></tr>
<tr><td rowspan="3">クラブ研修委員会

山口　誠</td><td>R情報・雑誌</td><td rowspan="3">1.「ロータリーの友」を配布し、会員にロータリー活動の情報を提供する。

2.　ロータリーに関する知識・情報を会員に提供し、クラブの活性化を図る。

3.　情報集会を年に４回程度開催し、クラブが直面している課題などを取り上げる。それによってロータリー活動への理解を深めるとともに、活動への積極的な参加意欲を醸成するように努める。

ⅰ2015.7.8　第1回情報集会
「高槻ロータリークラブの歴史」　清水　利男　会員
ⅱ2015.9.30　第2回情報集会
「ロータリークラブは、いかにあるべきか」越野　憲昭会員
ⅲ2015.11.25第3回情報集会
「職業奉仕」　岩井　祐造　会員
ⅳ2016.3.23　第4回情報集会
「ロータリーってなんだ」ロータリーの目的（討論会形式）
朝倉通憲会長・岩井祐造会員

4.　新入会員にロータリーについての情報を提供し、入会を援助する。入会時のオリエンテーションに参加し、資料を用いて解説した。

5.　新入会員にオリエンテーション用の資料を配布すると共に、研修を通してロータリーの精神、ロータリーにかかわる知識・情報を理解・習得して、ロータリー活動に早く溶け込めるように支援する。

6.　中堅・ベテラン会員への研修を行う。

7.　国際ロータリーの規定・規約の改定に適応するとともに、変更事項を会員に知らせる。
2016.4.10～15　に開催されたRI規定審議会（米国イリノイ州シカゴ）の決定を受けて、2016～2017年度に新しい手続要覧が発行されると思われる。

＊今後のクラブ活動の方針決定に資することを目的に、会員意識のアンケートを行い集計中である。集計が終われば、全員にお知らせする予定。

執行額　情報集会　38,152円
ロータリーの友　135,324円</td></tr>
<tr><td>研　修

山口　誠</td></tr>
<tr><td>規　定

清水　利男</td></tr>
</table>

委員会	担当副委員長	活　動　報　告
職業奉仕常任委員会 **仲　田　裕　行**	職業奉仕 **入谷　治夫**	活動計画　と　活動報告 1　毎月第一例会日に会員の創立記念を祝福する。 →　実施した。 理事会承認のもと、創業記念品を平成28年1月（実質2月）よりロゴ入りホットグラスから小倉山荘のおかきに変更した。 2　優良従業員表彰を年1回実施する。 →　実施した。 平成28年6月に（株）小阪工務店の西平元洋様１名を表彰した。 3　職場見学会を年二回実施する。終了後、炉辺会議兼懇親会を開催する。 →　実施した。 第1回は平成27年11月25日に大阪ガスグループの（株）アクティブライフ箕面（介護付有料老人ホーム）を見学した(16名参加)その後「とよなか桜会」に移動し、クラブ研修委員会主催で岩井会員による職業奉仕についての情報集会を実施後、懇親会を開催した（18名参加）。 第2回は平成28年5月25日に大阪地方裁判所を見学した。大阪地方検察庁のご協力を得て刑事裁判(公判）傍聴、公判の解説や広報活動等に触れた（24名参加）。 その後北浜の「うなぎ割烹阿み彦」に移動し懇親会を催した（23名参加） 4　前期入谷委員長を中心として、高槻市教育委員会との綿密な打ち合わせにより、小・中学生を対象とした出前授業（職業講話）、職場体験学習の実施に向けて「たかつき教育応援プラン」に７事業所が応募・登録した。今期はその内のいくつかを是非実行に移したい。 →　１件実施した。 平成28年2月9日に桃園小学校3年生に Man Puku　かふぇ川畑貴弥店長の出前授業による寒天のお話と果物入り寒天ゼリーの調理実習を支援した（11名参加）。J.COMで2月10日に放映された。 5　職業奉仕委員会担当月に卓話をする。「ロータリーにおいて職業奉仕とは何か」についてクラブ・フォーラムを開催する。 →　平成28年1月に2660地区職業奉仕委員会副委員長高杉英一（大阪ロータリークラブ）様に、「ロータリーの職業奉仕について」外部卓話して頂いた。クラブ・フォーラムは時期尚早の感があるので中止とし、今期はその準備期間に充てた。2660地区で職業奉仕の入門書が平成28年5月に作成された。 6　入谷会員の地区職業奉仕委員会への出席を支援する。 →　できるだけご支援しました。 執行額　　286,384円

<table>
<tr><th>委員会</th><th>担当副委員長</th><th>活　動　報　告</th></tr>
<tr><td rowspan="2">社会奉仕常任委員会
長井　正樹</td><td>社会教育</td><td rowspan="2">１．　いのちキラキラ食栽活動を全高槻市立幼稚園に継続事業として行いました。

２．　いのちキラキラ食栽活動を高槻市私立幼稚園にも活動の場を広げるため、高槻市双葉幼稚園にて活動を行いました。

３．　認知症サポーター養成講座を、株式会社高浄のグループ会社メンバー10名を対象に開催しました。

４．　生活安全環境認識と安全意識の向上については活動できていません。

５．　節電、リサイクル、代替エネルギーについての意識向上については活動できていません。

６．　シティーハーフマラソンに参画
執行額　　222,918円</td></tr>
<tr><td>社会環境
本多　了</td></tr>
<tr><td rowspan="4">国際奉仕常任委員会
藤井　敏雄</td><td>国際交流
西本　恵美子</td><td>（国際交流）
１．国際研修会
・ブキビンタン会長就任式に参加　友好クラブとの交流を深めた。
（2015年7月　11名参加）
・ＲＩ国際会議（ソウル市）に参加　（2016年5月　6名参加）
２．友好クラブとの関係強化
共同プロジェクトをブキビンタンＲＣと実施することになり地区補助金の申請を行い承認された。
①経緯
2015年 7月　ブキビンタン訪問　プロジェクト内容を討議
2015年12月　ブキビンタン訪問　プロジェクトを「デング熱撲滅キャンペーン」とし、高槻ロータリークラブが2660地区で補助金申請をする事にした。
2016年 3月　補助金申請を行い、4月に地区承認を得た。
②プロジェクト内容
プロジェクト名：「デング熱撲滅キャンペーン」
（デング熱を媒介する蚊の発生防止について啓発活動を行う）
予　　算：高槻ロータリークラブ　251,685円
2660地区より　205,902円
合　計　457,587円
（　16,000マレーシアリンギッド　）
実 施 時 期：2016年12月</td></tr>
<tr><td>Ｒ財団
松尾　浩</td><td>１人あたり＄100以上の目標に対して　＄ 185.52</td></tr>
<tr><td>米山奨学
藤田　貴子</td><td>１人あたり　20,000円以上の目標に対して　11,479 円</td></tr>
<tr><td></td><td>執行額：　207,200円</td></tr>
</table>

委員会	担当副委員長	活　動　報　告
青少年奉仕委員会 藤田　芳一	河合　一人	◎ 60周年記念事業委員会と連携し「高槻ロータリー未来塾」で高槻・島本地区高等学校野球部9校を支援しました。実践経験の乏しい1年生を対象に交流戦を行うことで技術向上は勿論、チームプレーの重要性、仲間や指導者とのつながりの大切さなどを体験することにより、次世代リーダーを育成するという目的を果たすことができました。 １．交流戦の実施 (1) 日時　平成27年11月21日(土)～11月23日(月) (2) 会場　大冠高校、高槻北高校、槻の木高校、三島高校 トーナメント方式で試合を行った結果、優勝は大冠高校、準優勝は金光大阪高校となりました。 ２．矢野燿大氏（現阪神タイガースコーチ）講演会の実施 (1) 日時　平成28年1月10日(日)　午前10時～11時40分 (2) 会場　高槻現代劇場中ホール 高等学校9校、中学校22校の野球部学生500名余を招待、熱気溢れた講演会となりました。 ３．高校野球支援事業報告会の実施 (1) 日時　平成28年3月4日(金)　午後5時30分～6時30分 (2) 会場　高槻現代劇場 支援事業報告書が配付され、事業が成功に終わったことが報告されました。 **◎執行額　高校野球支援事業　1,047,227円**
	内本　繁	◎ 「高槻中学校・高等学校インターアクトクラブ」の設立に向けて地区学校当局等と調整し、9月に国際ロータリーに認定申請を行い、10月1日に地区で8番目のインターアクトクラブとして認定され、活動が開始しました。 １．認定状伝達式を挙行 (1) 日時　平成27年11月11日（水）午後4時～6時 (2) 会場　高槻中学校・高等学校　会議室 地区ガバナー 立野純三氏、大阪医科大学 理事長　植木　實氏はじめ6名のご来賓を迎え伝達式を執り行い、その後、和気藹々の懇親会を開催しました。 ２．年次大会に参加 (1) 日時　平成27年11月15日(日) 午前10時～午後4時 (2) 会場　清風学園 インターアクター7名が参加し、クラブの活動内容を堂々と発表するとともに交流イベントにも積極的に取り組みました。 ３．新入生歓迎会に参加 (1) 日時　平成28年6月5日(日)　午前9時30分～午後4時 (2) 会場　大阪府羽衣青少年センター グループで杉板を焼いて絵を描く焼き板を作り、昼食はバーベキューを堪能しクイズ大会では他クラブとも交流し親睦を深めました。 以上、当初の活動方針に則り、60周年記念事業委員会と連携した「高槻ロータリー未来塾」の高校野球部支援事業とインターアクトクラブの設立及び活動の支援を主体に活動しました。 ◎執行額　インターアクト関係　263,777 地区関係　ニコニコキャンプ　18,000 春のライラ　18,000 秋のライラ　18,000 三大学医工薬連環機構 自由研究コンテスト　協賛金　50,000 **執行額　367,777円**

委員会	活　動　報　告
中長期企画	高槻ロータリークラブも創立６０周年という大きな節目を迎えて、もう一度高槻ロータリークラブ創立の原点に立ち戻り、クラブの活力と魅力を取り戻したいと考え、中長期の重点方針を決め魅力あるクラブづくりを目指していく必要があると考えられ、2660地区においても名実ともに模範となるクラブになるように綱領に定めるロータリーの方針の理念を堅持しながら新しい時代に即したクラブのあり方を考えていこうと思いました。 ２０１５～２０１６年度クラブ概況報告書では １）伝統と歴史ある当クラブが今後６５～７５周年に向けて取り組む問題点 ２）今後、各委員会活動の中で生まれる事業、他について ３）年会費の件について ４）例会運営について （例会出席率の向上と親睦会の活性化について） 中長期ビジョンを立てる上で高槻ロータリークラブとしての会員の方々と議論を行わなくてはならない内容が浮かびあがってきました。第２回目の会議では伝統と歴史ある当クラブが今後６５～７５周年に向けて取り組む問題点に的を絞り報告していきたいと思います。 ①クラブ戦略計画委員会の名称について 創立６０周年記念講演式典祝賀会も終わって２０１４～２０１５年の会長よりクラブ組織常任委員会、クラブ研修委員会とは別に中長期ビジョンの立案、目標を掲げて中長期計画を立てることとなりました。その時に名称を中長期企画会議と称し活動する事になり、２０１５年度に伝統と歴史ある高槻ロータリークラブが今後６５～７５周年に向けて取り組む問題点を洗い出し、会員へのアンケート等の意見を参考にして中長期企画の骨子を作成し、活動運営の指針として活動していこうと考えて行動する予定でしたが、２０１６年２月１６日　第２６６０地区よりクラブ戦略委員長会議が行われて地区活動の方針等が報告され、国際ロータリー第２６６０地区の中長期計画の名称がクラブ戦略計画委員会としての名称が使用されているので高槻ロータリークラブとしては各クラブ統一的な名称により中長期企画会議の名称からクラブ戦略計画委員会と名称変更することになりました。 ②ロータリークラブにおいての組織上の位置づけ 当委員会の位置づけとしては中長期的視野に立って高槻ロータリークラブの歴史と伝統のあるクラブの伝統文化を大切にするロータリー精神に裏付けされた考え方を元に「温故知新」の考えを意識してクラブの組織及び活動全般に関して自由に議論する場とする。その上で理事会に対して必要な助言を行うことが基本的役割であると考え、理事会、委員会とは別の立場での意見交換をし合う。 単年度を目途に議論の整理を行っていく。必要に応じて委員会招集する。要するに理事会の諮問機関としての役割を果たす。 ③構成メンバー、任期について 原則として現、前、前々、前々々会長、会長エレクト、会長ノミニー、幹事及び数名の委員会が認めた者 ④周年事業について １９５４年6月１５日大阪ロータリークラブのスポンサーにより創立された高槻ロータリークラブは誕生して今年で６１周年になりました。先輩諸氏が大切にされた奉仕の理念、綱領を私達が理解し「四つのテスト」の実践を常に心掛けて行動し、５大奉仕部門の具体的な活動の重要性を理解しバランスよく毎年実施し、例会や奉仕活動の実践を通して自分自身を磨いてお互いに人格と品格を高め合う仲間となるように活動してきたのです。 高槻ロータリークラブの歴史は先人の歴史でもあり、その節目には創立記念式典を行い、創立４０周年記念事業として高槻ロータリークラブ福祉文化基金を発足させ５年間高槻の福祉文化振興に最善を尽くされた団体個人を表彰し、創立５０周年記念事業としては夢未来プロジェクト委員会事業として高槻市内中学生英語弁論大会優秀者のオーストラリアへのホームステイ招待を５ヶ年行い、２０１４年には創立６０周年記念事業として「日本の心の文化と新世代育成」をテーマとして高槻市内の高校生を中心として文化の担い手となる地域社会づくりを目的とし、講演会事業を展開してまいりました。「高槻ロータリー未来塾」開設し、新世代の育成と地域社会創造プロジェクトを設立して心の文化を学ぶ活動

委員会	活　動　報　告
中長期企画	をし、若者に感動・感激をハダで感じ取っていただき学校外教育の支援を目標としました。 事業期間は５ヶ年を予定しております。 第一回目は２０１５年２月８日第一回ロータリーデーに高槻市内中高等学校生によるブラスフェスタ イン 高槻を開催させていただき、若者に夢と感動を与えられたのではないかと思います。また、創立６０周年事業は第２回目が終了し新年度には第３回目の事業活動が行われると思います。このような創立周年においては会員相互の扶助努力の集大成で成し遂げられると思われます。創立６５～７５周年に向けての活動方針への取り組みを高槻ロータリークラブとしては考えなくてはならないと思います。中長期戦略を考える上では周年事業においての活動できる環境整備を行わなくてはならないと思います。 　コンセプトに対する活動方針はどのようにするか 　記念事業資金調達に向けての方法はどのような流れをつくるか など周年事業に向けて具体的な問題点が上がってきます。私達、中長期戦略委員会の今後の中心的な議論になってくると思われます。 ⑤将来の高槻ロータリークラブの指針 歴史と伝統のある高槻ロータリークラブの復活にかけての指針を掲げて、たとえば第２６６０地区ガバナー選出に向けての人材養成や、新世代のロータリアン育成に向けてのインターアクト活動における支援活動や、国際友好クラブとの奉仕活動プロジェクトの委員会との意見交換の支援活動など、今後５年１０年先を見据えた活動が中長期戦略計画委員会に課せられた委員会活動ではないでしょうか。